

山行番 NO. 1514  
日時 2012.09.16(日)晴  
山域 伊豆・猿山(1000m)＝地図読み山行  
標高差 河津七滝・萩ノ入川約330m～猿山1000m＝標高差約670m  
参加者 後藤、村山、小松、峰田、浜道、勝又(薫)



1. 河津七滝・萩ノ入川 ゲート 6:50

今日も晴れ。朝晩と少々涼しくなってきたがまだまだ、日中は暑い。今日は地図読みの訓練で、猿山に登る。持ち物は地図とコンパスだ。地図は猿山周辺2万5千図(仁科・湯ヶ野・湯ヶ島)と電子拡大地図。しかし、用意していった地図では全く間に合わず、リーダーの用意してきた地図を5枚拡大コピーして使用。考えていたルートではなかったのだ。先頭はMさん。ゲートを潜り、林道を歩き出す。西方面に30分近く上った所で、橋を渡り、対岸の林道を今度は東南方面に歩く。



2. 東南尾根の入り口 7:30

ここから猿山の東南尾根入口。コンパスを北に合わせ地図をその下に滑らせ、磁北線を合わせ位置確認。自分自身も体を北に向ける。左手のその小道が東南尾根の入口のようだ。リーダーに指導を受けたが、なかなか手こずってしまう。カーナビのようにはいかない。なだらかな山道を登る。つかの間で、傾斜が徐々に急になってくる。



3. 630m ピーク 7:50

地図上には破線や点線で印してない道を歩いて出会った最初のピーク。等高線をみると、630mらしい。休憩を取り、また尾根を登り始める。地図とにらめっこばかりしている。

4. 788m ピーク 8:25

結構きつい傾斜の尾根を上る事、35分。788m ピークに達した。ここは北東、南西尾根にも通じる大きいピークだ。しかし、猿山が眺望出来るので、猿山の方角、北西の尾根を下る。猿山が見えて良かった。



5. 788m下750m地点 8:30  
5分程下ると鉢巻ルートに差し掛かった。  
ここが皆で意見が分かれた。地図上で点線の道が左右にあるが、指示は尾根を上るらしい。道はない。尾根のしっぼのような所で、見落としてしまう。ここを上がる？半信半疑だが、ここしかない。こんな狭い所、道にしなければならぬ。急な斜面を上がる。  
この上はブナの大木が沢山ある。春先の台風で折れてしまった木もある。

6. 猿山頂上(1000m) 9:15  
急登を全身使って上ること200m。  
やっとなだらかな道になり猿山頂上着。  
付近は、なかなか良い広場だった。  
木漏れ日の中、早お昼を食べ休憩。



7. 下山 10:10  
下山ルートの指示は西南尾根から地図上に記載されている鉢巻ルートに出て、先程皆で悩んだ750m地点に行って、北東から回り込んでゲート近くの橋まで下る。  
今回の先頭はKさんだ。



8. 合流地点 10:25  
尾根を15分1000m下ると、地図上の鉢巻道に合流。これをを40分程下る。

9. 788m下750m地点 11:00  
ここで またまた、皆で考えたが、Kさん先頭に地図上の北北西に向かっている登山道を選び歩き出した。20分近く歩いたがだんだんと道が狭くなり、しまいには沢を挟んで向こう側にある道によじ登らなければならない状況になってしまった。Kさんは果敢に登りきったが、危険ということで、他5名は引き返すことにした。そして、また750m地点に戻り、検討を重ね北西方面に延びている沢道を下ることにした。



10. 植林の森 11:35  
沢を下り始め、暫く行くとさっきの道とは打って変わって歩きやすい植林の道だ。



地図にはないが立派な道になっている。  
30分も歩けば今朝の林道上に出た。

11.Kさんと合流下山 13:00  
リーダーはKさんに、鉢巻道東の尾根を下るよう指示を出したが、沢を下って苦戦したとのこと。無事に合流出来てよかった。  
地図読みは初めての経験だったが、恐い反面、面白かった。貴重な経験をさせて頂いた。

